

富山県漕艇場指定管理者仕様書

富山県漕艇場（以下「漕艇場」という。）の指定管理者が行う業務の範囲及び内容等は、この仕様書による。

1 趣旨

この仕様書は、漕艇場の指定管理者が行う業務の内容及び履行方法について定めることを目的とする。

2 法令等の遵守

漕艇場の管理に当たっては、この仕様書のほか、次に掲げる法令等に基づき実施する。

- (1) 地方自治法
- (2) 富山県営体育施設条例
- (3) 富山県営体育施設条例施行規則
- (4) 個人情報の保護に関する法律
- (5) 労働基準法、労働安全衛生法、その他労働関係法令
- (6) その他の関係法令（施設の安全確保のための各種規則法令等）

3 業務の範囲・内容

(1) 職員の配置

業務に支障のないように職員を適正に配置するとともに、育成・資質向上を図るため必要な研修等を実施すること。

(2) 有資格者等の配置

ア ローイング（ボート）の専門用語、セッティング（リギング）の仕方、乗り方及び漕ぎ方等、ローイング（ボート）競技の専門的知識、大会時のコース設営知識と技術を有し、競技の普及と振興を推進する専門員（常勤）を1人以上配置する。

イ 国土交通大臣発行の小型船舶操縦免許2級5トン限定以上の資格を有する者（常勤）を1人配置する。（アと同一の者が兼ねることも差し支えない。）

(3) 施設の維持管理

ア 危機管理対応

(ア) 予防対策

自然災害、人為災害、事故等あらゆる緊急・非常・不測の事態に対しては危機管理体制を構築するとともに、対応マニュアルを作成し、災害時の対応について随時訓練を実施すること。また、消防署等からの指摘があった場合には、直ちに改善措置を講ずること。

(イ) 災害対応

上記災害等の際には、遅滞なく適切な措置を講じたうえ、県をはじめ関係機関へ連絡を行うこと。

(ウ) 避難所等となった場合の運営協力

施設所在市町村が避難所等として使用する際には、避難所等の管理・運営に協力すること。

イ 消防法に定める防火管理者（甲種）を配置するとともに、防災訓練を実施し緊急時に備える。

ウ 施設の管理業務日誌等、諸帳簿を作成し、必要に応じて県に提出する。

エ 健康増進法による受動喫煙防止対策として、館内は全面禁煙とする。

(4) 設備機器の維持管理

常に善良な管理者の注意義務をもって管理し、適正な利用に供するよう日常及び定期点検を行い、必要に応じて部品交換や補修・修繕を行う。

なお本仕様書は、募集に際して必要とされる業務の標準を示したものである。作業回数等の定めのない業務については、設備機器の稼動状況等に応じ、指定管理者が適宜判断して行うこと。

ア 設備機器運転管理業務

(ア) 設備機器の運転操作及び監視

(イ) 設備の維持管理（日常巡視点検、定期点検、整備補修）

(ウ) 設備に関する臨機の措置

(エ) 環境衛生管理業務

(オ) 法定検査及び報告

イ 浄化槽保守点検管理業務

(ア) 接触バッキ方式（70 人槽）

a 水質検査（浄化槽法第 11 条による法定検査 年 1 回）

b 保守点検（年 4 回（3 ヶ月に 1 回））

浄化槽法及び同法施行規則第 2 条に定める保守点検の技術上の基準に基づき実施する。

c 清掃業務（年 1 回）

d その他の業務（随時）

ばっ気室・沈殿室の処理機能点検、薬剤の注入、モーター機器の絶縁試験等

(イ) 分離接触バッキ方式（20 人槽）

a 水質検査（浄化槽法第 11 条による法定検査 年 1 回）

b 保守点検（年 3 回（4 ヶ月に 1 回））

浄化槽法及び同法施行規則第 2 条に定める保守点検の技術上の基準に基づき実施する。

c 清掃業務（年 1 回）

d その他の点検・試験（随時）

ばっ気室・沈殿室の処理機能点検、薬剤の注入、モーター機器の絶縁試験等

ウ 受水槽保守点検管理業務

(ア) 業務の内容

次亜塩素酸ナトリウムにより清掃する。

(イ) 定期検査（年１回）

建築物の衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）に定める水質検査基準に基づき実施する。

(ウ) 設備機器

F R P 8 m³ 1 槽

エ 消防設備保守点検管理業務

(ア) 定期点検（機器点検、総合点検、それぞれ年１回）

消防法及びその他関係諸法令規則に定める保守点検の技術上の基準に基づき実施する。

(イ) 設備機器

設 備 機 器	仕 様	数 量
消火器具	消火器	10
自動火災報知器	予備電源	1
	受信機・中継器	1
	感知器	50
	発信機	4
	警音装置	4
非常警報器具	予備電源	1
	放送設備	1
	スピーカー	25
避難器具	金属製はしご	1
誘導灯	非難口誘導灯	4

オ 清掃業務

(ア) 床清掃（長尺塩化ビニールシート、約 270 m²、適宜）

ポリッシャー、モップ等で、洗剤洗浄後、ワックス仕上げとする。

(イ) 窓ガラス清掃（約 170 m²、年１回）

両面を洗剤洗浄後、乾拭きする。

なお、施設内は、日常的に清掃する。

カ 樹木維持管理業務

(ア) 水辺の広場（約 1,600 m²、年１回）

広場への除草剤散布又は除草

(イ) 左岸小公園（約 30 m²）

近隣の迷惑とならず、景観を損なわないよう管理する。

キ 芝生維持管理業務

(ア) 定期管理

芝刈り等全般的な管理を行い、最良の状況を確保する。

(イ) 水辺の広場（約 1,100 m²）

芝刈り（年１回）・除草剤散布（適宜）

ク ジブ（固定式）クレーン（１台）の管理業務

浮棧橋及びモーターボート昇降用のジブクレーンの保守点検を行う。

ケ 審判艇（モーターボート１艇、定員４人）の管理

（ア）台風時等、審判艇が危険な場合は、審判艇を引上げ、艇庫付近に配置する。

（イ）船舶安全法に基づく船舶検査を受ける。（令和８年度）

(5) 利用の承認及び利用料金の徴収等

ア 利用承認申請の受付及び案内誘導を行う。

イ 利用承認に当たっては、次の基準により承認する。

（ア）専用（団体）利用

県、県教育委員会、県スポーツ協会及びその加盟団体が、主催、共催、又は主管するスポーツ大会及び各種事業を優先させる。

（イ）一般利用

専用利用の承認状況を鑑みて承認することとし、富山県公共施設予約システム及び電話での予約等により、随時承認する。

ウ 漕艇場の利用料金は、富山県営体育施設条例第 11 条第 2 項の規定により、同条例の別表第 3 で定める金額の範囲内において指定管理者が県の承認を受けて定めるものとし、徴収した利用料金は、指定管理者の収入とする。

エ 指定管理者は、県の承認を受けて定めた基準により利用料金を減免することができるものとし、この場合は事業計画書によりその基準を提案すること。

オ 利用者の活動等の便宜を図るため、施設備え付けの備品等を貸し出す。また、設営・利用方法がわからない利用者への支援を行う。

(6) 湖面使用の留意点

ア 「神二ダム調整池湖面使用に関する協定書」及び「確認書」に基づき、使用開始時及び終了時には、その都度、北陸電力株式会社神通水力センターに連絡する等、安全管理に十分留意し、湖面を使用する。

イ 毎年 1 月末日までに、各種大会等の開催について、神通水力センターに事前協議し、使用の承認を受ける。

ウ コース設営の必要な大会においては、設営の指導・協力を行う。

(7) 宿泊室の供用

ア 宿泊者があるときは、宿直者を 1 人以上配置する。

イ 宿泊者に対し、入所の説明を行い、漕艇場所有のシーツ、枕カバー等、リネン類を貸し出す。

ウ リネン類は、洗濯、消毒の上、清潔に保っておく。

4 その他留意事項

(1) 県からの要請への協力

ア 県から、施設の管理運営及び施設の現状等に関する調査の指示等があった場合には、

迅速、誠実、かつ積極的な対応を行うこと。

- イ その他、県が実施又は要請する業務（県有建築物の定期点検及び緊急安全点検、防災訓練、行・催事イベント、要人案内、当該施設の管理に関する会議、監査・検査等）への参加・支援・協力・実施を積極的かつ主体的に行うこと。

(2) 県と指定管理者で協議・調整を要する事項

次の事項については、県と指定管理者が調整又は協議を行うこと。

- ア 施設の管理運営に係る各種規程・要綱等を作成する場合
- イ 本仕様書に記載のない事項